

令和2年度 水道配水用ポリエチレン管(エスロハイパーJW)の布設歩掛表

水道施設整備費に係る歩掛表より抜粋、一部加筆。但し、 はメーカー歩掛り。

ポリエチレン管(融着接合)布設工

ポリエチレン管(EF接合)布設工							
呼び径 (mm)	据付工(10m当り)				継手工(1箇所当り)		
	配管工(人)	普通作業員(人)	クレーン機種	運転時間(h)	配管工(人)	普通作業員(人)	諸雑費
20	0.07	0.12	—	—	0.03	0.03	労務費の8.5%
25	0.07	0.12	—	—	0.03	0.03	
30	0.08	0.14	—	—	0.04	0.04	
40	0.08	0.14	—	—	0.04	0.04	
50	0.10	0.18	—	—	0.04	0.04	
75	0.10	0.18	—	—	0.05	0.05	
100	0.12	0.20	—	—	0.07	0.07	
150	0.18	0.26	—	—	0.09	0.09	
200	0.25	0.49	—	—	0.13	0.13	
250	0.09	0.15	クレーン付トラック 4t積2.9t吊	1.34	0.15	0.15	
300	0.10	0.16		1.41	0.17	0.17	

- 備考 1. 継手工は2口継手を標準とする。
 2. 継手工において、1口の場合は本表の70%とする。
 3. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 4. 諸雑費には、機械器具損料及び消耗品を含む。

ポリエチレン管(メカニカル継手)布設歩掛表

呼び径 (mm)	継手工(1口当り)		
	配管工(人)	普通作業員(人)	諸雑費
50	0.04	0.04	労務費の1%
75	0.04	0.04	
100	0.04	0.04	
150	0.05	0.05	
200	0.06	0.06	

- 備考 1. 本表は、水道配水用ポリエチレン管に使用するメカニカル継手工に適用する。
 2. 据付工は、ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工を適用する。
 3. 諸雑費には、接合器具損料を含む。

ポリエチレン管切断歩掛表

呼び径 (mm)	継手工(1口当り)		
	配管工(人)	普通作業員(人)	諸雑費
20	0.01	0.01	労務費の1%
25	0.01	0.01	
30	0.01	0.01	
40	0.01	0.01	
50	0.01	0.01	
75	0.01	0.01	労務費の7%
100	0.02	0.02	
150	0.02	0.02	
200	0.02	0.02	
250	0.03	0.03	
300	0.03	0.03	

備考 諸雑費には、工具損料及び損耗費等を含む。

サドル分水栓建込み歩掛表

サドル分水栓建込み歩掛表 (1箇所当り)										
配水管		20			25			30		
管種	呼び径(mm)	配管工	普通作業員	諸雑費	配管工	普通作業員	諸雑費	配管工	普通作業員	諸雑費
ポリエチレン管	50	0.05	0.05	労務費の1%	0.06	0.06	労務費の1%	—	—	—
	75	0.06	0.06		0.07	0.07		0.08	0.08	労務費の1%
	100	0.06	0.06		0.07	0.07		0.08	0.08	
	150	0.07	0.07		0.08	0.08		0.09	0.09	
	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(1箇所当り)

40			50		
配管工	普通作業員	諸雑費	配管工	普通作業員	諸雑費
—	—	—	—	—	—
0.09	0.09	労務費の1%	0.10	0.10	労務費の1%
0.09	0.09		0.10	0.10	
0.10	0.10		0.11	0.11	
—	—	—	—	—	—

- 備考 1. 本表は、給水管接合工を含む。
 2. ポリエチレン管とは、水道配水用ポリエチレン管である。
 3. 諸雑費には、工具損料及び損耗費等を含む。
 4. EFサドル、EFプラグ付サドルにおいても、本歩掛りを適用する。(メーカー歩掛り)

ロケーティングワイヤー歩掛表

作業種別	形状寸法	単位	ロケーティングワイヤー(m)	普通作業員(人)	備考
ロケーティングワイヤー		100m当り	110.0	0.1	

備考 ロケーティングワイヤーの固定は溶剤浸透防護スリーブ被覆の固定用ゴムバンド又は粘着テープ、管明示テープを利用するものとする。

溶剤浸透防護スリーブ被覆歩掛表

(100m当り)

呼び径(mm)	労務費		諸雑費		
	配管工	普通作業員	溶剤浸透防護スリーブ	固定具	
	(人)	(人)	(m)	固定用ゴムバンドの場合(組)	粘着テープの場合(m)
75 以下	0.25	0.25	A (a式による)	B (b式による)	
100	0.30	0.30			
150	0.35	0.35			
200	0.43	0.43			

備考 1. 本表は、管長5mについての歩掛である。

2. 溶剤浸透スリーブを管1本当り単位とする場合は、C表の管1本当りスリーブ長で割り戻すこと。

3. 固定用ゴムバンドは、1組当り2条とした場合の歩掛である。また、使用組数を継手1箇所当り4組とし、直部1m当り(継手1箇所当り1mを除く)1組とした場合の歩掛である。

a 100m当り溶剤浸透防護スリーブ使用量(A)の算 a 式

$$A(m) = \frac{L_2 \times (1 + \alpha)}{L_1} \times 100.0m \quad \dots\dots\dots c \text{ 表}$$

L1: 直管長(m/本) c 表

L2: 管1本当りスリーブ長(m) c 表

α: 溶剤浸透防護スリーブ割増係数 c 表

b 100m当り固定ゴムバンド使用量(B)の算定

$$B(\text{組}) = \frac{4\text{組} \times (1 + \beta) + (L_1 - 1.0m)}{L_1} \times 100.0m \quad \dots\dots\dots b \text{ 式}$$

L1: 直管長(m/本) c 表

β: 固定バンド割増係数 c 表

c 管1本当り溶剤浸透防護スリーブ長、直管長、固定バンド、割増係数は次表による。

C 表

呼び径(mm)	直管長(m)	溶剤浸透防護スリーブ		固定バンド
		管1本当りスリーブ長(m)	割増係数	割増係数
50~200	5.0	6.0	0~0.2	0~0.5

備考 溶剤浸透防護スリーブの割増係数は、異形管、切管等に伴い使用不能となる材料割増しである。

また、固定バンド割増係数は、異形管、切管等に伴う接合箇所の割増である。